

平成28年2月29日開催定例美祢市教育委員会会議録

開催日時 平成28年2月29日（月）午後1時27分から午後3時30分

開催場所 美祢図書館「視聴覚室」

出席委員

| | | |
|-------|----------|----|
| 前田 耕次 | 委員長 | |
| 秋山 信登 | 委員長職務代理者 | |
| 古屋 道子 | 委員 | |
| 井上 敏雄 | 委員 | |
| 永富 康文 | 委員 | 5人 |

出席教育委員会事務局職員

| | | |
|-------|-------|----------------|
| 山田 悦子 | 事務局長 | |
| 末岡 竜夫 | 事務局次長 | |
| 千々松雅幸 | 〃 | 教育総務課長 |
| 津守 一郎 | 〃 | 学校教育課長 |
| 古屋 敦子 | 〃 | 生涯学習スポーツ推進課長 |
| 高橋 文雄 | 〃 | 文化財保護課長 |
| 森田 孝一 | 〃 | 文化財保護課主幹 |
| 井上 辰巳 | 〃 | 美東事務所長 |
| 安永 一男 | 〃 | 秋芳事務所長 |
| 福屋 憲道 | 〃 | 学校教育課長補佐 |
| 野本 靖 | 〃 | 生涯学習スポーツ推進課長補佐 |

11人

欠席教育委員会事務局職員 新家 健司 〃 教育総務課長補佐

1人

開 会

前田委員長

午後1時27分 委員全員の出席を確認し開会を告げ、署名委員に秋山委員、古屋委員を指名する。

前田委員長

前回の会議録の承認について、事前に各委員へ配布された会議録への意見、質問を求める。

全員承認

前田委員長

行事関係について教育長の報告を求める。

永富教育長

前回の教育委員会会議以降の行事報告を申し上げる。行事の概要はお手元にお配りしている資料のとおりであるが、特に7点ほど日時の経緯にそって報告する。

その1つ目は、2月4日に、第9回秋芳地域統合中学校開校準備協議会を開催したことである。3月末に迫った秋芳北・南の両校の閉校式と、4月9日に予定している新しい秋芳中学校の開校式を挙行することについての報告を行ない、平成26年2月に始まり、足かけ2年にわたって開催してきた本協議会を閉じることにした。秋芳中学校は、「Think Globally Act Locally」というコンセプトの下で、すでに校名・校訓・校章・制服・校歌等も決まっており、校舎の改修、そして念願であったプールとテニスコートも年度末までには完成することになっている。また、そこに至る横断歩道については信号機も設置されている。準備万端の上、開校式を迎えられるものと思っている。新しく生まれる秋芳中学校が、地域の方々から愛され、育てられてきた秋芳南・秋芳北中学校、それぞれの輝かしい歴史と伝統を受け継ぎながらも、これまで以上に、皆さまに愛されるよう願っている。我々としても、これからの時代ふさわしい、斬新で、魅力的で、活力ある新しい学校になるよう全力で取り組みたいと思っている。

2つ目は、2月12日に、第2回 Mine 秋吉台ジオパーク構想拠点施設検討委員会を開催したことである。当委員会は、昨年度設立し、1回開催した。その後、日本ジオパークに認定されたこともあり、ジオ活動を通じて行政だけでなく地域の方々が地域のよさを見直し、そのことで、地域の在り方や、そこに生きる我々の生き方を考えていこうとする気運が生まれている。秋吉台科学博物館を中心として、学術・文化機関が中心となり、最新の研究成果や地域おこしの事例や手法など、適切な情報提供を行い、学生・若者から大人・高齢者まで、色々な人が集まって秋吉台というフィールドで、様々な取組が活発になってほしいと思っている。そのような役割を果たせるような、言うなれば、「知の広場」、「知の司令塔」として、当館が役割を果たせるよう、施設整備や教育普及活動の一層の充実が求められている。また、当館のみでなく、周辺環境、周辺施設との一体的な整備、市内の化石館等との連携など、大学や研究機関と

の幅広い連携が課題になる。当日は、協議の後、歴史民俗史料館など、他の施設を見学していただき、御意見をいただいた。

3つ目は、2月16日に、美祢市栄光賞・美祢市体育協会優秀選手賞・美祢市体育功労者賞授与式を挙行了たことである。委員長には、栄光賞の授与と御挨拶、委員の皆様にも御出席をいただいた。御存知のとおり、表彰を受ける者が多数出て、嬉しい限りである。美祢市の文化・スポーツ面での水準の高さを、あらためて実感させられた。

4つ目は、2月18日に、第4回秋芳北部地域統合小学校開校準備協議会を開催したことである。嘉万小と別府小の統合により、平成30年4月に新しい統合小学校が開校することになっているが、懸案事項などについて各部会で協議されたことなどの報告があった。校舎についても、委員の皆様をはじめ、協議会のメンバーからも御意見をいただいた。お陰により、斬新で魅力的な、素晴らしい設計図ができ、新しい学校が形になりつつあると思っている。校名については、協議会の委員等からも御意見をいただいたが、本日改めて、委員の皆様からも御意見をいただきたい。新しい学校のコンセプトは、「地域に見守られ 地域とともに伸びゆく、夢育む学舎～共に学び、共に生きる～」と考えており、地域の皆様が、いつでもどなたでも学校にお越しいただき、子どもと共に楽しく過ごしていただけるような、地域の交流センター的な役割をも兼ね備えた学校にしたいと思っている。子どもたちのみならず、地域の方々にとっても「魅力と活力、夢と希望に溢れた学校」となるよう頑張っていきたい。

5つ目は、2月20日に、第2回美祢市民大学講座を開催したことである。講師として下関出身の映画監督である佐々部清氏を迎え、「豊かに生きる。～映画づくりは人づくり」という演題で講演があった。当日、佐々部監督の講演を、「美祢子ども交流塾・公開講座、第2回ドリームレクチャー」として、併せて開催し、塾生の参加を得た。交流塾の時、塾生が監督に、「監督は何の映画が一番良かったですか。」という質問をした。監督は、「ウエストサイド物語」と答えられた。高校生の時、何十回となく観に行かれたとのことである。それは、現代版「ロメオとジュリエット」だそうである。佐々部監督は、また、「チルソクの夏」も「ロメオとジュリエット」を下書きにしていると話されていた。「チルソクの夏」に、「ウエストサイド物語」と「ロメオとジュリエット」がどのような影響しているのかお分かりであろうか。もちろん、「チルソクの夏」は、悲劇としては描かれてないし、監督らしい作品に仕上がっている。佐々部監督は、映画監督をめざされて、その夢を叶えられたが、監督になりたくても実際になれる者は、ほんの一握りの人だそうである。志を達成するには、それが好きであることだけでなく、のめり込むことや、情熱の持続や努力の継続等、並大抵でないものがあると思う。監督の講演は、委員の皆様にもお聞きいただいたが、講演内容の御感想や、今後の講師選定など、御意見をお聞かせいただければと思う。

6つ目は、2月23日に、第6回史跡長登銅山跡調査・整備委員会を開催し

たことである。長登銅山跡は、美祢市の重要なジオサイトの一つであり、平成22年度から、国と県の補助を受け、整備を進めてきており、今年度から4年計画で、史跡整備計画の策定に向けた基礎資料の収集を目的とした調査事業に入っている。今年度は、地形測量を行ったが、来年度から発掘調査に入ることとしている。そのため、今回の委員会では、委員の方々に、発掘地点を実際に見ていただき、御意見をいただいた。

7つ目は、美祢市議会3月定例会のことである。2月22日に、初日となる本会議が開催された。教育委員会に関わる議案としては、平成27年度美祢市一般会計補正予算（第8号）、平成28年度美祢市一般会計予算、また、その他として、美祢市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正についてである。これは、秋芳中学校の開校に合わせて、秋芳テニス場及び夜間照明施設の設置に伴う条例改正である。2月25日、26日の両日に開催された市議会予算委員会では、1名の反対があったが、賛成多数で補正予算、当初予算とも承認された。今後、3月1日に教育経済委員会、3日と4日に一般質問があり、3月15日に閉会日を迎える予定である。

その他の行事については、別紙資料のとおりである。

なお、2月21日に予定されていた秋吉台山焼きは、3月2日に延期されているが、このような天候では実施は無理かも知れない。

「その他」については、特になし。

以上で報告を終わる。

前田委員長

市民大学講座は、アンケートをとっていたが、来年度の講師選定の候補があるか。

古屋生涯学習スポーツ推進課長

まだ、集計をしていない。

前田委員長

私も行ったが、300名という市民の方が来られていた。市民の方の関心が高いと思った。市民の方々の意見も聞きながら、講師の選定を行っていただきたい。

前田委員長

議案第1号「美祢市体育施設の設置及び廃止」について説明を求める。

古屋生涯学習スポーツ推進課長

美祢市秋芳テニス場及び美祢市秋芳テニス場夜間照明施設を平成28年4月

1日に設置し、美祢市秋芳プールを、平成28年3月31日をもって廃止するものである。

前田委員長

特に質疑がないことを確認し、議案第1号は承認される。

前田委員長

議案第2号「美祢市温水プール管理員設置要綱の一部改正」について説明を求める。

古屋生涯学習スポーツ推進課長

美祢市温水プールについては、管理員を2名配置している。管理員の報酬は月額7万円となっているが、市臨時職員の日額単価が1割増額されることに伴い、月額7万7千円に改正するものである。

この訓令は、平成28年4月1日から施行する。

前田委員長

特に質疑がないことを確認し、議案第2号は承認される。

前田委員長

議案第3号「美祢市温水プール管理員の委嘱」について説明を求める。

古屋生涯学習スポーツ推進課長

管理員2名の委嘱について、教育委員会の承認を求める。任期は平成28年4月1日から平成29年3月31日までである。

前田委員長

特に質疑がないことを確認し、議案第3号は承認される。

前田委員長

議案第4号「美祢市社会教育指導員等の委嘱」について説明を求める。

古屋生涯学習スポーツ推進課長

社会教育指導員2名、社会教育専門指導員1名の委嘱について、教育委員会の承認を求める。任期は平成28年4月1日から平成29年3月31日までである。

前田委員長

特に質疑がないことを確認し、議案第4号は承認される。

前田委員長

議案第5号「美祢市博物館等施設特別専門員の委嘱」について説明を求める。

末岡次長

現在、秋吉台科学博物館に2名、長登銅山文化交流館に2名の特別専門員をおき、学芸員等の補助的業務に携わっていただいている。職員の育休により秋吉台科学博物館の特別専門員を1名増とし、秋吉台科学博物館特別専門員に3名、長登銅山文化交流館に2名の委嘱について、教育委員会の承認を求める。任期は平成28年4月1日から平成29年3月31日までである。

前田委員長

特に質疑がないことを確認し、議案第5号は承認される。

前田委員長

続いて、「教えて考えさせる授業のポイントは何か。」について協議を行う。

秋山委員

市川先生の「教えて考えさせる授業を創る」という本を読み、私なりに感じたことを申し上げる。皆様の意見もお願いしたい。

「教えて考えさせる授業」は全ての子どもが伸びる機会を重視した教育である。子どもたちが「わかる授業」「充実感を感じられる授業」でなければならないということで、子どもをどのように伸ばしたいのか、伸びるかを考えることが、大変重要である。また、子どもの発言や様子からクラスの中がどのような理解状況の分布であるか、大まかに把握することに敏感でなくてはならない。子どもの理解状態を把握することを非常に重視している。それで、理解深化の問題として最も適切なのは、子どもがいかに誤解しそうなことを先生が課題として用意し、子どもたちの考え方を色々出してもらったうえで討論することである。自らの誤解を修正していくような学習ができれば理解深化として意義があるものとなる。子どもが予習してきたことを基に、その理解状況を把握しながら子どもに発展的な課題に取り組みさせる中で、思考を深めさせ、学び方を身に付けさせ、子ども自身が新たな課題を発見していくことができるようになる授業、これが「教えて 考えさせる 授業」だと思う。

多様な子どもがいる学級では共同学習(グループ学習)の導入が必要となる。コミュニケーション能力の向上、深い理解につなげる機会にもなる。教えるための工夫としては、教師研修の充実などがあり、この予算確保が必要になる。新学年が始まったとき、子どもの変化を察知することや、ノート指導、支援が必要な子どもにも目を配っていただきたい。

学校では、異なる教科の先生もお互いに連携・サポートしあうことが大切である。また、先生も多様な機会を通じて勉強する必要がある。授業では何を教えるのか、何を考えるのか、目標をどこにおくのかを、先生は常に考えておかなければならないと思う。

「教えて考えさせる授業」とは、基本的なことをずばり教え、その上で難し

い課題を解くというメリハリが大切だと思う。教科書は、予習、授業、復習で活用するのがよい。特に理解深化に取り組むといい。

理解深化の問題として、最も大切なことは、子どもがいかにも誤解しそうなことを先生が課題として用意し、子どもたちに考え方を色々出してもらった上で検討することではないかと市川先生が言われている。そして自らの誤解を修正していくような学習ができれば理解深化として意義がある活動になると言える。間違いをどうしてしたのかを学習することに意義があるということである。色々な解き方を小グループで考え、間違いやすい、あるいは面倒くさそうなことなどを選び、発表することを、すでにどこかの学校で行っていた。

授業とは、伸びる機会をどの子にも与えることである。市川先生は、「共同学習」にヒントがあると言われている。「教わってからその先を考える学習」これが「自ら学び自ら考える」というスタイルの原型である。どこの学校も、発達段階に応じたレベルに達していない児童・生徒への取組みが課題になっている。少人数学習での教え合い、あるいは、夏休み等における授業外の補習等で色々対応されている。学校も努力しているのが、学校訪問に行った際に分かる。子どもたちが人に説明できるかどうか1つの目安ということで、小グループやペアに分かれて、説明活動や教え合い活動を促している。先生も理解できない子どもには、積極的に教えていくということで、付箋や下線、書き込み等の指導を行うことが大事である。また、課題設定の良し悪しが授業の成果を左右することから、そのクラスのレベルを感じ取りながら、子どもにとって教えがいのある課題を設定し、その次に活用・応用・発展のための課題を設定することが大切である。また、市川先生は、自己評価を大事にされている。授業を振り返り、様々なポイントから自己評価を行うことである。

どこの学校も市川先生の本を勉強され、その実践が学校に浸透していると感じる。

数学の理解深化問題及び各学校で取り組んでいる理解深化問題の事例について、説明する。

間違い、失敗を見つけながら、それを取り上げ授業に活かしていくと、皆の理解確認にも繋がると感じた。

必ず予習をしていないと、授業で「本わかり」にならないと思う。これができれば一番いいと思う。教科書を超える授業というのは、難しいところもあるが、これを積み上げていけば、素晴らしい学力向上になる。

「教えて考えさせる授業」では、「教えるべきことはきちんと教える」が理想であり、その「教え方」の工夫が必要である。どのような力が付いたかを教師が把握することが重要である。授業終了時に教師がどの程度把握できるか、教師の力の差がここででてくると思う。

また、これらの取組を学校全体で取り組むことが重要になるが、これには校

長のリーダーシップが必要となる。子どもの学習意欲が向上することが学力向上にもつながる。また、共通の基礎ができていることで、コミュニケーションがとりやすくなる。

素晴らしい教師は、教科書を使った上で、教材などを工夫し、より深いレベルまで導くことができる人であると感じている。学習は、大人になっても勉強したり、趣味として楽しんだりするための生きるための基礎を身に付けさせるためのものである。市川先生の指導により、美祢市の教師の意識も向上し、学力向上にもつながっていると思う。教育には、継続的な予算措置が必要である。教育は未来への投資でもあり、美祢市の発展にも大いにプラスになると思う。

一人ひとりの教師が持っている持ち味を気づかせ、校長がリーダーシップをとりながら、「教えて考えさせる授業」を推進していただきたい。そうすると、美祢市のレベルも向上すると思う。

井上委員

「授業のポイントは何か。」という話とはずれてしまうかもしれないが、市内の各先生は、秋山委員がまとめられた市川先生のお考えは、よく学習され取り組まれていると思う。理論上言われていることを、実際に先生が取り組まれてみて、結果に結びついているかを、振り返ることが一番大事である。各個人の成績や理解力が上がってきているのなら問題ない。やってみたが、そうになっていないということが多々あると思う。実践してみて、実際はどうだったかを聞いて、改善していかないとダメだと思う。学力に差があっても上手いかないか、色々な問題提起があると思う。それを、どうするかが大事である。何年も取り組んできて、学校が頑張っているのもよく分かる。見直しも大事と思う。そうすると、底上げになって、美祢市の学力も向上していくと思う。そういったアンケートはとっているのか。

津守学校教育課長

まだ、徹底する時期ではないかと思っている。

井上委員

学校訪問に行っても、頑張っているのが分かる。教科にもよると思う。数学とか算数はやり易いと思う。それ以外の教科については、ここが上手いかないかといった本音の話もあると思う。1学期から3学期までの全部の授業にハマて行くかということ、かなり難しい。実践してみて、どこに無理があるとか、時間が足りないとか、学力差があるといった問題がでてくると思う。それをどうするかをみていく必要があると思う。

前田委員長

学校訪問、運営支援訪問に行って、授業を見ているが、一番の課題は、理解深化課題をどう設定するかが、先生方の悩みではないかと思う。予習から入って、基礎・基本を教えるところまでは到達している。その後の理解深化問題が

さっと出せるものもあれば、そうでないものもある。だから、先生方は、教科書の中の演習問題を理解深化問題にしているところが多い。一番の課題はそこではないかと思っている。知恵を持ち寄り、理解深化問題としてこういうようなものがあるといったものを作っていくことが、大事であると思う。

井上委員

サンプル集です。

特に、中学校では、理解深化課題が難しいと思っている。

秋山委員

学校訪問等をして、何を見ればいいのかと思う。

井上委員

学校に行って、「理解確認や深化課題の整理ができていない。」と初めから言われる先生もいるが、まずは、やってみるべきである。実践してみた結果を検証し、問題点の改善を考えるべきだと思う。できないのであれば、別のところに問題があると思う。できないものを実践しろと言っても進まない。

前田委員長

理解深化までいかない。教えることに時間がかかるということは、恐らく、教室の中での子どもの能力差があり過ぎるからだと思う。

井上委員

そこに、理由があるのであれば、そこに向けての対策を考えればと思う。

前田委員長

能力差の問題と理解確認の両方の問題があると思う。

井上委員

それが、全ての学校にあてはまるかは分からないと思う。

秋山委員

学校でも、レベルに達していない子どもを、どのように上げていくかが課題であると言われた学校がある。

井上委員

その方が多い。

古屋委員

学校によって、課題が違うと思う。各学校が、このようにしているが、ここが十分にやれていないとか、各学校、先生ご自身が、課題がどこにあるかを掴み、それを解決しようとしないと、なかなか伸びないと思う。昨年度に比べ、今年度は、遥かに以前より、「教えて考えさせる授業」づくりに心を砕いている様子がよく分かる。先生方も、今日の授業は本当によくできたと思える授業は、本当に教えるしかないと思う。自分の課題をはっきりさせた上で、取り組むべきだと思う。一言で言うと、先生の教材研究の深さによると思う。私たちは、教育委員として各学校に行く。その際、自分でも問題と感じているが、ふさわしい意見やアドバイスが言えないところがある。口で言うのは易しいが、具体的な指導を行なえるようになりたいと思い、学校訪問をしている。大変難しい。先生方は、多少の差はあるが、以前よりはこの指導方法を勉強していることを強く感じる。

前田委員長

来年度も、授業を見ていくが、教育委員会としても、今年はこの視点から授業を見ていくというポイントを整理したい。かなり課題はあると思う。

井上委員

今年度に関しては、予習を重視していこうということであった。その予習を取り入れた授業をしている先生と全くそれをしない先生に分かれる。年度初めに、教育委員会から各学校に今年度は予習に力を入れるよう伝えてあると思うが、やらない先生がいるのはなぜか。やってできないというのは分かるが、全くその雰囲気がない学校もある。新年度、新しいテーマにするにしても、学校にはチャレンジして欲しい。

前田委員長

研修主任の温度差なのか、管理職の温度差なのかもしれない。

井上委員

今までやってきたことを変えたくないということもあるかもしれない。

永富教育長

予習をすると授業に新鮮味がなくなるので、予習をしない方がいいというような、昔風の考え方をする者はいないと思う。やはり、予習はした方がいいと思っていると思うが、どういう予習をどこまでさせるのかといったように、突き詰めた校内の議論ができていないところもあるのかもしれない。「教えて考えさせる授業」づくりのテキストはあるが、こういう風な立場で授業を見た時に、どこに課題があるのか、どこまでこの授業づくりができているのかを、私たちが学校に行って、授業を見て見抜かなければならない。そこを見定めたくて、「ここを、こうしたらどうでしょうか。」といった提案をすることが大

切である。難しいところを、学校も考えなければならないし、我々も一緒になって考えなければならない。美祢市の授業づくりはどこまで到達しているのか、どこに課題があるのかを分け入って、細かく見て行くことが大事と思う。

前田委員長

理解深化問題と同じように予習課題も考えて行かなければならない。

前田委員長

予習も、分からないところは付箋を付けるようにということであるが、そこを授業で教員が見れるかどうかである。その辺から始めるのがいいかもしれない。

永富教育長

分からないことが見つけられる子どもは凄と思う。疑問が見つけられるような授業をしないといけない。

前田委員長

学校訪問も、そういったところが指導できるようなポイントを考え、次に進んでいきたい。

前田委員長

次回、秋吉台科学博物館の藤川主査がブルガリアでの研修について報告する。

前田委員長

続いて、協議・報告を各課から求める。

山田局長

平成28年度美祢市教育委員会主要事業について説明する。

井上委員

太陽光発電設備設置事業は、20,000千円もかかるのか。

千々松教育総務課長

10kwhのパネルと15kwhの蓄電池、太陽光と風量による外灯2箇所である。

災害時（停電）には、非常用の電力として使用するが、平時は、学校の電力として使用する。

井上委員

今後、この事業は各学校に展開していくのか。

永富教育長

県の全額補助事業である。

山田局長

県の補助事業については、平成28年度で終了する。

秋山委員

秋吉台ゲートウェイ整備事業の具体的な内容は。

末岡次長

ジオパークの拠点施設機能と観光客の休憩スペースになる。民間の土地・建物を購入し、改修することとしている。

山田局長

美祢市立秋芳北部地域統合小学校の「校名」について説明する。

嘉万小学校及び別府小学校の通学区域に限定し、募集を行った。58人から、28の校名の応募があった。開校準備協議会総務部会から6案の校名を開校準備協議会に提案することとした。開校準備協議会では4案に絞り込みを行い、教育委員会が決定することとした。

その4案は、「秋芳北小学校」「桂花小学校」「秋芳桂花小学校」「梨花小学校」である。

千々松教育総務課長

教育総務課に関する事項として、次の2点について協議報告する。

・秋芳南中学校及び秋芳北中学校の閉校式並びに秋芳中学校の開校式について

| | | |
|-----------|----------|-------|
| 秋芳南中学校閉校式 | 3月26日（土） | 8：45 |
| 秋芳北中学校閉校式 | 3月26日（土） | 11：00 |
| 秋芳中学校開校式 | 4月9日（土） | 9：00 |

・平成28年度 県都市教育長会議・市教育委員会協議会総会他について
平成28年4月20日（水）

全員出席とする。

津守学校教育課長

- ・平成27年度 市内小・中学校卒業証書授与式（告辞）について

古屋生涯学習スポーツ推進課長

生涯学習スポーツ推進課に関する事項として次の3点について協議報告する。

- ・市民大学講座について
2/20（土） 272人受講
- ・美祢秋吉台カルスト高原マラソンについて
3/6（日） 2,659人エントリー
- ・絵本の読み聞かせについて
3/5（土） 美祢図書館
※美祢図書館 3/7（月）～3/23（水）システム更新のため休館

高橋文化財保護課長

文化財保護課に関する事項として次の1点について協議報告する。

- ・来嶋又兵衛にかかる書簡等208点の寄贈
寄贈者 瓜生等勝氏（西厚保町）
2/19（金）
4/1号の市報に掲載

末岡次長

世界ジオパーク推進課については、特になし。

末岡次長

秋吉台科学博物館については、特になし。

井上美東事務所長

美東事務所に関する事項として次の1点について協議報告する。

- ・2/7（日）第34回美東町駅伝競走大会
積雪のため中止

安永秋芳事務所長

秋芳事務所については、特になし。

次回の定例教育委員会を平成28年3月24日（木）午後1時30分から美祢図書館

「視聴覚室」において開催する旨を告げる。

午後 3 時 30 分委員会の終了を告げる。

平成 28 年 2 月 29 日